

<b>グローバル経済と中小企業B</b>		<b>教授 星野 為國</b>	
<b>科目カテゴリー</b>	<b>国際ビジネスコースの専門 選択科目</b>	<b>科目ナンバリング</b>	<b>23200210</b>

### 1. 授業のねらい・概要

この講義において、日本におけるグローバリゼーションを分析する。経済的グローバリゼーション、IT革命の進展とともに、企業間競争は国際的な広がりをもって一層激化している。競争力の劣弱な企業が淘汰され、企業間分業関係は変化している。中小企業構造も変わりつつある。さらに、本講義では、企業間分業関係を階層性の視点から理論的に検討し、近年における企業間分業関係の変化と中小企業の構造変化そして競争のグローバル化と中小企業の技術戦略について考察する。

### 2. 授業の進め方

主として、テキストに従って講義形式で進める。授業中テキストにないテーマは、その都度補って行く。可能な限り、講義計画に基づいて授業を行うように努める。

受講生からの質問がある場合、随時回答するつもりである。受講生が授業内容を十分理解しているか否かを確認するために受講生に質問するケースもある。

### 3. 授業計画

1. 日本経済の国際化と流通諸環境の変化	9. 生成設備と全要素生産性
2. 日本的流通システムの動揺と開発輸入	10. 情報及び情報ネットワーク
3. 流通システムの変化と中小流通業	11. グローバリゼーションと中小企業
4. 高齢社会の到来	12. グローバリゼーションの直接的な影響
5. 高齢社会向け製品サービスの開発	13. グローバリゼーションの間接的な影響
6. 中国の郷鎮企業について	14. 成功の基準と要因
7. 経済の国際化と郷鎮企業の発展	15. 新しい企業組織モデル
8. 韓国の中小企業の労働力構成と組織の変化	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

30分以上の予習と1時間以上の復習は必須である。紹介された参考文献は必ず読むこと。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

研究室において、各受講生に個人的に対応する。

### 6. 授業における学修の到達目標

グローバル化と中小企業の技術戦略に詳しくなること。

### 7. 成績評価の方法・基準

レポート・テスト（85%）および受講態度と参加活動状況（15%）等を総合的に判断して評価する。

### 8. テキスト・参考文献

- （テキスト）内田勝敏編『グローバル経済と中小企業』世界思想社  
（参考書） ①小林英夫『戦後アジアと日本企業』岩波書店  
②坂本和一『新しい企業組織モデルを求めて』晃洋書房

### 9. 受講上の留意事項

授業への取組み姿勢を重視する。

**10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**  
該当しない。

**11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**  
上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。